

計画事業番号	00639	事務事業名	私道除雪支援事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6104
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市私道除雪補助金交付要綱			
事務事業開始年度	昭和37年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 4 節)	交通の充実
	(施策 3)	冬期間交通の確保
2 対象	除雪業者等との契約により、市内において私道の除雪を実施する町内会、除雪組合等の団体	
3 目的と内容	冬期間の交通確保のため、私道の除雪を実施する団体を支援する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	私道の除雪を実施する団体が、除雪に要する費用補助を受け事業を実施(世帯負担上限額4,000円) 補助金の額:~H25 補助基本額の2/3以内 H26~ 補助基本額の1/2以内 平成18年度 29団体、平成19年度 28団体、平成20年度 27団体、平成21年度 29団体 平成22年度 28団体、平成23年度 27団体、平成24年度 27団体、平成25年度 27団体 平成26年度 26団体、平成27年度 24団体、平成28年度 24団体
	29年度	昨年と同様の事業であるが、私道除雪費用の2分の1を補助する。 (平成26年度から補助率変更)、世帯負担上限額4,000円 実施予定団体:24.団体 実施予定延長:7,600m

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
対象団体に助成	対象団体に助成 (実施24団体)	対象団体に助成	対象団体に助成	対象団体に助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	要検討	世帯負担額上限額については引き続き検討すること。	
1次評価	現状継続	事業は継続する。世帯負担額上限額についても引き続き検討する。	
2次評価	現状継続	現状継続とし、世帯負担額上限額については、引き続き検討すること。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,468		2,500		2,500		2,500	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,468		2,500		2,500		2,500	
		① 合計	2,468		2,500		2,500		2,500	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)		0.02	0.08	0.02	0.08	0.02	0.08	
		③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
		④ =②×③		168	360	168	360	168	360	
総事業費①+④			2,996		3,028		3,028		3,028	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①私道補助対象延長	目標値 実績値	7.6	7.6	7.6	7.6
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	冬期間の一般交通を確保するために必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	本事業を実施することにより沿線に居住する市民の冬期間の生活が維持されていることから有効である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	補助対象路線はほぼ確定している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	近年の人件費の値上りや燃料費の高騰により補助基準額が上昇しコストを削減することは難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。